



## 顔料+メディウム=絵具

「絵具を自分で作ってみたい」  
「自分だけの色を作りたい」

絵具は顔料とメディウムを混ぜて作ります。  
メディウムの種類によって絵具の作り方が異なります。

絵具を作りたい

### 水性絵具の自製手順

顔料の水練り→皿練り or 練り台  
※裏面に解説有り

### 油性絵具の自製手順

材料を準備して 練り台

1



### アクリルメディウム

【組成】アクリルエマルジョン  
プロピレングリコール  
防腐防カビ剤

2



### 透明水彩メディウム

【組成】アラビアガム 40%  
グリセリン、水  
防腐防カビ剤

3



### 不透明水彩メディウム

【組成】アラビアガム 10%  
グリセリン、水  
防腐防カビ剤

4

### オイルカラー メディウム 【油絵具メディウム】



【組成】  
サフラワーオイル  
ステアリン酸

5

### 混合技法用 画用液



【組成】  
ダンマル樹脂  
テレピン  
スタンドオイル

## 皿練り

### 1 2 3 5 におすすめの方法

メディウムを顔料の定着材としてのみ利用する時に行う練り方です。  
少量の絵具を調製するのに便利な方法で、絵具を作りながら描画する時有効です。



①水練りした顔料(\*)と  
メディウムを皿に少量出す。  
(※裏面を参照)



②皿上でだまが無くなるまで  
よく練り合わせる。



○使用イメージ

#### ■目安 (体積比)

	顔料:メディウム	
アクリルメディウム	有機	10 : 14
	無機	10 : 6

注意: アクリルはすぐ使わないと乾いてしまいます。  
※他メディウムは下記参照

※直径 6cm の絵皿では、約 5cc の絵具を作ることが来ます。【注意】多量に絵具を作ろうとすると不均質なだまになることがあります。メディウムの比率によっては、十分な接着力が得られない場合があります。

## 練り台

### 2 3 4 5 におすすめの方法

メディウムを顔料の固着と保護の2面で利用する場合の練り方です。メディウムが顔料の細部にまで浸透するように時間をかけて練り合わせます。一度に大量の絵具を製作するのに便利な方法です。



#### 【道具の準備】

- ・顔料 ・メディウム ・練り棒
- ・ペインティングナイフ 2本
- ・練り台 (大理石パレット、  
平らなガラス、プラスチック板)

※40 cm 角のパレット上では、  
約 50cc の絵具を作ることが可能。

#### ■目安 (体積比)

	顔料:メディウム	
油絵具メディウム	有機	10 : 5
	無機	10 : 3
透明水彩メディウム	有機	10 : 14
	無機	10 : 8
不透明水彩メディウム	有機	10 : 9
	無機	10 : 5

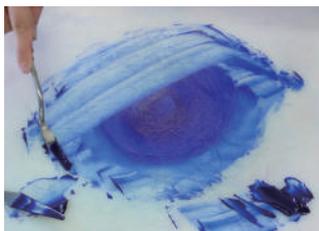
※アクリルは乾燥が早いので練り台での製作は不向きです。



①【荒練り】顔料を出し、目安の体積比を参考にメディウムを少しずつ加え、ペインティングナイフで混ぜ合わせる。  
※メディウムは多すぎても問題ありません。



②一度ナイフで荒練りしたものをパレットの際(右上)に移動。そこからパレット中央に少量取り練り棒で円を描くように練る。



③練り終わったら、もう1本のきれいなペインティングナイフで練り棒に付いた絵具を落とし、荒練りとは別の場所(左上)に置く。  
②と③の工程を繰り返す。



④練っている絵具がメディウムと馴染むと、ペーストがなめらかで光沢が出る。十分に混ぜり、ざらつきが無くなれば完成。  
空気の入らない密閉容器に移して保存。

## 顔料の水練り

水性の絵具を作る場合、あらかじめ水のみで顔料を湿らせた状態にしておくとメディウムを加えた際のはじき現象を防ぐことができます。



※クリームソーンレーキやマダー類、プルシャンブルー等の粒子の細かい顔料はメディウムと混ぜりにくいため、水と一緒に水性顔料分散剤を使うのがおすすめです。

- ①顔料に水を少しずつ加え、ペインティングナイフで練る。(水…顔料に対して半量)
- ②すぐ使うならそのままです。  
保存するのであれば、防腐防カビ剤を練り合わせ、密封できる蓋付のガラスビン等の保存容器に入れる。  
なるべく早く使いきることを。

水やメディウム(バインダー)と混ぜにくい顔料をきれいに分散させます。



水性顔料分散剤

## 卵黄テンペラ (テンペラマグラ)

oil 30%

マグラは瘦せている、あるいは油分の少ないことを意味します。速乾性で、発色が鮮やかで卵油のため「油やけ」を起こさないので、経年による変色が少ないのが特徴です。

【材料】

卵黄(1個分)…約20cc  
防腐防カビ剤…1~2滴



①新鮮な鶏卵の殻を割り卵白を取り除く。



②卵黄を手のひらで転がし卵白のぬめりを取る。



③黄身の被膜を摘み上げ容器の上で黄身の底に穴を開け中身を出す。



④防腐防カビ剤を適量入れよく混ぜる。  
※絵具の伸びを調節する場合は水を好みの濃度で使用。

自製水性絵具等に添加するだけで、防腐・防カビの効果を発揮し、保存期間が格段に伸びます。



水性絵具用  
防腐  
防カビ剤

## 全卵の乳剤

⑤ 混合技法用画用液使用

oil 50%

全卵の乳剤は、油絵具との混合技法に適していて、重層的で透明感のある表現を可能にします。テンペラマグラとテンペラグラッサの中間の油分です。

【材料】

全卵(1個分)…1容量(約45cc)  
混合技法用画用液…1容量以下  
防腐防カビ剤…1~2滴



①新鮮な鶏卵の殻を割り卵白のみ瓶に入れる。(卵黄は別にしておく)(カラザは捨てる)



②黄身の被膜を摘み上げ容器の上で黄身の底に穴を開け中身を出し、振り混ぜる。(黄身の皮は捨てる)



③混合技法用画用液を全卵の容量を超えないよう2~3回に分け入れ、その都度振り混ぜる。



④防腐防カビ剤を入れて乳化するまで振り混ぜる。  
※冷蔵庫内に保存すると約半年間は使えますが、なるべく早く使い切ってください。水は使用時に加えてください。

テンペラ絵具の  
作成例



(1)水練りした顔料に各種テンペラの糊剤を適量加える。



(2)大きめの筆やペインティングナイフ等で、ダマが無くなり、光沢が出るまで混ぜる。



○使用イメージ

## テンペラグラッサ

⑤ 混合技法用画用液使用

oil 65%

グラッサは太った、脂肪分の多いの意味。テンペラグラッサは卵黄テンペラより堅牢で、絵具の伸びが自由でぼかしやグレースも可能です。

【材料】

卵黄(1個分)…約20cc  
混合技法用画用液…ティースプーン2杯  
防腐防カビ剤…1~2滴



①卵黄テンペラの①②③の工程と同じ。



②混合技法用画用液を卵黄の半容量(ティースプーン2杯分)入れて乳化するまで混ぜる。



③防腐防カビ剤を1~2滴入れて混ぜる。  
※冷蔵庫内に保存すると約半年間は使えますが、なるべく早く使い切ってください。水は使用時に加えてください。

油性分を調節することで顔料の発色を明るくすることも濡れ色にすることもできます。

